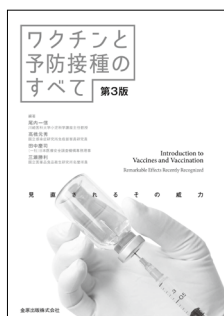


書 評

ワクチンと予防接種のすべて 第3版 見直されるその威力



(編 著) 尾内 一信 高橋 元秀 田中 慶司 三瀬 勝利
(定 価) 4,500 円 + 税
(判型・ページ数) B5 判・276 頁
(発行日) 2019 年 10 月 15 日
(発行所) 金原出版

1995 年頃から約 15 年間にわたり、わが国は先進諸国の予防接種体制から大きく遅れた状態でした。2010 年を過ぎる頃から他の先進諸国で既に導入されていたワクチンがわが国にも導入され、細菌性髄膜炎、敗血症、難治性中耳炎などの重篤な細菌感染症が大幅に減少しています。現在、小児科実地医家の予防接種による医業収益は総収入の約 4 割近くを占めています。本書は 2009 年に初版が刊行され、この度 3 版目の出版となりました。ワクチン開発の歴史や効果、予防接種の役割など基礎・臨床面から予防接種を理解するための解説、わが国で用いられているワクチンの具体的な説明、海外渡航時に用いるワクチンの紹介、わが国に近い将来導入されるであろうワクチンの紹介など、予防接種を実際に行っている医師にとって貴重な情報が丁寧に解説されています。また、予防接種に関係する用語や技術についてコラムにて解説され、読書の理解を深めています。本書が、予防接種を担う医療関係者に大いに利用されることを願っています。

五十嵐 隆 (国立成育医療研究センター理事長)